

奥松島
縄文村
まつり

入場無料

2022. 10.30 Sun
10:00-15:00会場：奥松島縄文村歴史資料館内
・石の広場

丸木舟進水式

30周年記念関連イベント

ナイトミュージアム×バーババー

10.15 (sat) 17:00-20:00

★夜の博物館ツアー

…館長が夜の展示室をご案内！

(17:00/19:00 各回25名、40分、要予約)

★夜の博物館探検

…ライトを手に展示室を探検。

(18:00～19:00 出入り自由・予約不要)

★バーババー

…地元の食材が集まった野外バー。

企画展

「学史を飾る松島湾の三大貝塚
- 大木田・西ノ浜・里浜 -」

10.23 Sun - 12.25 Sun

松島湾沿岸は日本有数の貝塚密集地帯。中でも大木田・西ノ浜・里浜の3つの史跡は古くから注目され、調査研究がおこなわれてきました。東北を代表するこれらの貝塚を中心に、松島湾沿岸の貝塚に迫ります。

プログラム

- 10:00 オープニングセレモニー
よさこい(おどりんちゅ)
開会挨拶
丸木舟進水式
- 11:00 ステージ・イベント
JOMON トーク
(JAL×JOMONMURA)
- 11:40 縄文コンサート
(高橋泉と縄文ジャズオーケストラ)
- 12:45 縄文チャレンジ！
(縄文カキ剥き競争 / 火おこし競争)
- 13:30 ゴスペル
(IKG 石巻きぼうゴスペルクワイア)
- 14:30 エンディング
よさこい(おどりんちゅ)

みんなと
お祝い！

おかげさまで30周年！

イベント

縄文体験【無料】

11:00～14:30 受付

火おこし / まがたま / シカ角ストラップ
/ 縄文コースターから2つ。

縄文チャレンジ！

～真の縄文人はだれだ!?!～

・縄文カキ剥き競争
(12:45～、ひとり300円)
・火おこし No.1 決定戦(ひとり100円)

パネル展

「縄文村30年を振り返る」

開館から30年を懐かしい写真で
振り返ります。

東松島旬の市

おまつりを盛り上げる屋台が集まります。

サンドアートワークショップ

地域おこし協力隊保坂俊彦さんによる
ワークショップ。

【定員15名・事前予約制】

※低学年・未就学児は保護者同伴

開館30周年に寄せて。

奥松島縄文村歴史資料館は、里浜貝塚の出土遺物の展示を行う施設として、平成4年10月18日に開館しました。

里浜貝塚は、縄文時代前期から弥生時代中期にかけて、約五千年も続いた日本最大級の貝塚。古くから多数の縄文人骨や漁具・装身具などの多彩な骨角器が出土することで知られ、平成7年に国の史跡に指定されました。調査研究の歴史も古く、大正時代にまで遡るこれまでの調査で、縄文人の生業・食生活の実態や精神文化など自然と向き合い・崇め・共生した、まさに縄文人のSDGsな暮らしぶりを明らかにしてきました。

資料館の展示室は小さいですが、海辺に暮らした縄文人と人々の生活が満載された縄文博物館として、全国的にも知られ、60万人を超える方々に来館いただきました。

ですが、縄文村は資料館だけではありません。貝塚と遺跡を取り巻く里浜の海や森があって初めて活きる施設なのです。里浜貝塚には大きく“ぶ厚い貝層”が残され、遺跡として最大のセールスポイントなのですが、それだけでもありません。史跡公

園の青い海と空を見たことがありますか？「縄文人が見たまんまの海」が、貝や魚を獲り、塩づくりをした海が当時のままに残されています。森もあります。

縄文村の魅力は「見て学ぶ」のではなく、「体験して知ることができる」ところ。資料館や貝塚の見学だけではありません。遺跡と奥松島の自然を活かした体験講座やイベントをとおして、縄文を体験・体感することができます。とくに“地の利”を活かした海の縄文食体験や塩づくり、漁り体験などは、調査成果と縄文の海をもつ「里浜ならではの」体験メニューです。こんな場所、ほかにはありません。

現在、資料館には北は北海道から南は福岡まで178世帯532人の「村びと」(里浜貝塚ファンクラブ会員)が村民登録しています。体験イベントのリピーター家族を中心に発足したもので、縄文人が暮らした島で館の活動に様々な形で参画し、家族ぐるみで縄文を体験・体感しています。難しいことは考えず、まずは縄文村と一緒に「じょうもん」してみませんか？

